

## 果樹の生理状態を可視化する分子診断技術とその応用

農学部 附属農場 講師 榎 真一

## 研究シーズの概要

果樹の着果不良や果実品質の低下は、外見からは把握できない生理状態の変化によって引き起こされることが多く、従来は経験的な対応に依存してきた。例えばブドウでは、着色不良や花ぶるいなどの問題が収量や品質に大きく影響する。

本研究では、糖代謝および植物ホルモンに関連する遺伝子発現を指標として、果樹の生理状態を早期に診断する技術の開発を行っている。これにより、品質低下の兆候を事前に把握し、適切な対策

につなげることができる。さらに、培養細胞系を用いたスクリーニングにより、生長や品質に影響を与える物質（糖類や生理活性物質など）を効率的に選抜する。これらの候補について、圃場試験を通じて効果を検証し、作用機構の解析を進めることで、実際に利用可能な生育制御技術として確立する。

本技術は、「状態を見える化してから対策する」という新しい栽培管理を可能にする。これにより、高品質果実の安定生産と、経験に依存しない効率的な栽培の実現に貢献する。

【利用が見込まれる分野】 農薬・肥料・資材メーカー、種苗会社、農業法人・果樹生産者

## 研究者プロフィール



榎 真一/エノキ シンイチ

メールアドレス

[enoki.shinichi@kagawa-u.ac.jp](mailto:enoki.shinichi@kagawa-u.ac.jp)

所属学部等

農学部附属農場

所属専攻

園芸科学

職位

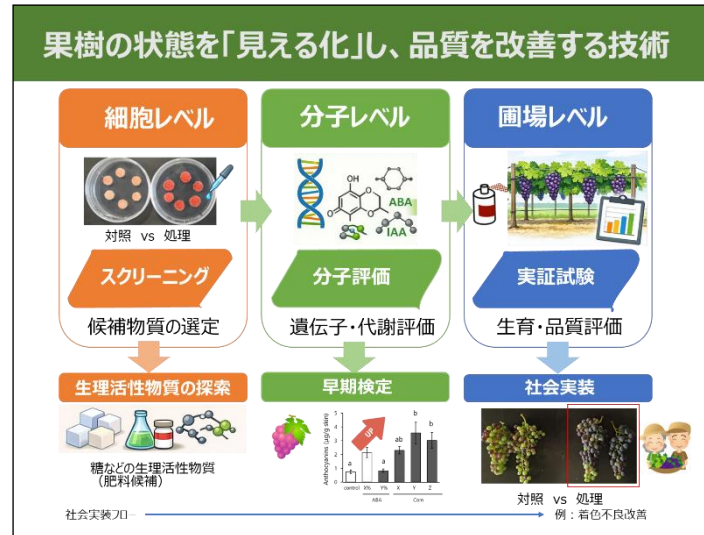
講師

学位

博士（工学）

研究キーワード

果樹生理学、果実品質形成、糖代謝、植物ホルモン、分子診断



本技術に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

直通電話番号：087-832-1672

メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp